

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期に対応するために、利用者、家族の意向を聞き取り、重度化に伴う意思確認書を作成し、職員のターミナルケア研修会や医療機関との連携体制を検討すること。	それぞれの意向を聞き取り意思確認書を作成する。ターミナルケア研修会の実施。主治医との連携体制をとる。	重度化・終末期についての、意思確認をとり、書面に残す。また、スタッフに対して、ターミナルケア研修会を行う。	6ヶ月
2	35	自主訓練は、夜間想定で行い、近くに住む職員の駆けつけや町内会の人達にも協力をお願いする等、実際の訓練を行い、又3日程度の飲料・食料の備蓄をする。	夜間の避難については、近所への応援をお願いする。その体制作りを行う。災害時の備蓄用に、水・食材・ラジオ等を購入する。	夜間の避難は、チラシを作成し。近所の方々に、個別にお願いする。備蓄は、ポリタンクを購入し、水を確保する。保存できる食料の購入・災害時用に、ラジオの購入も考えたい。	6ヶ月
3	4	従来議題の外に、「外部評価の説明と課題の改善状況」「介護関係の基本知識説明」「介護業界のトピックス」等を追加し、サービスの向上に活かせる話し合いの場となる。	運営推進会議で、議題を多岐にわたり取り上げることで、サービスの向上に活かす。開催の回数も、年間6回を目標とする。	会議では、「外部評価の説明と課題の改善状況」「介護関係の基本知識説明」「介護業界のトピックス」等を追加し、サービスの向上につなげる。	12ヶ月
4	10	運営会議に出席できない方、事柄上人前では言い難いこと等もあるので、利用者個別に連絡帳を準備して希望等を記入しやすくし、書かれた要望等に迅速に対応していく。	運営に関して、御本人・御家族の意見を言いやすい環境作りと、その意見を、全職員に周知させ、改善する努力を惜しまない。	まず、どういう方法が、意見を出しやすいのかを、運営推進会議で話し合いその方法で要望を出していただく。その上で、スタッフ会議で改善策を話し合い、実施する。	12ヶ月
5	2	ホームで、「介護相談」「介護関係の基本知識説明会の開催」等を行い、さらに地域に貢献する。	事業所自体が地域の一員であるために、「介護相談」等を行い、日常的に地域との交流を図る。	ホームページやポスターで、常時「介護相談」を行っていただくことを知らせ、活用していただく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。